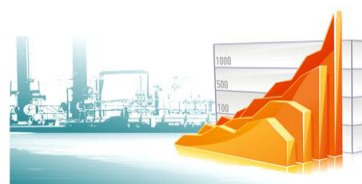


ぎふ経済レポート



令和6年7月分
岐阜県商工労働部

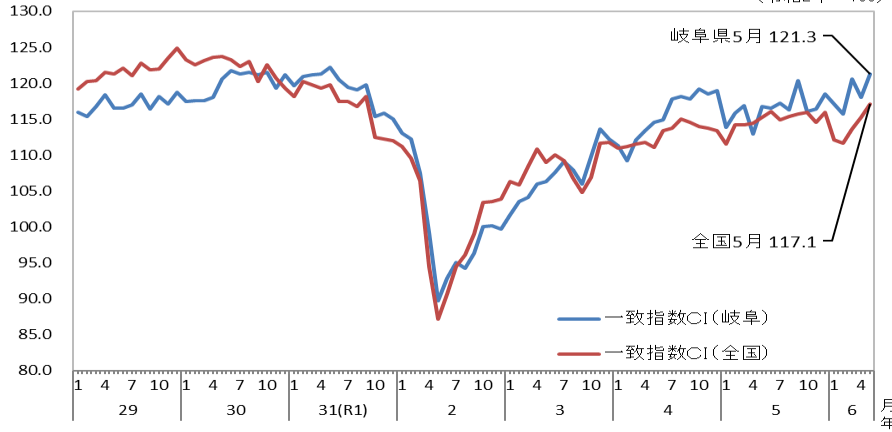
※企業等へのヒアリングは7月25日～29日を中心に実施し、8月26日時点で作成。

景気動向

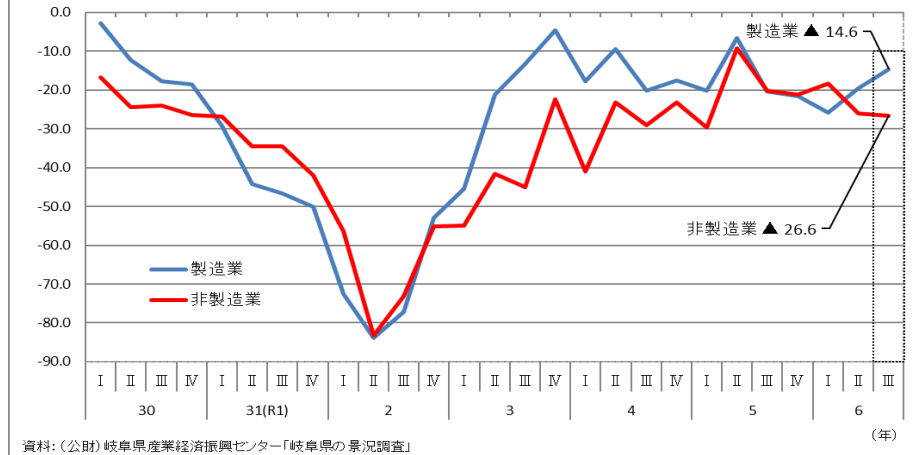
○5月の景気動向指数(一致指数)は、121.3
で前月比3.1ポイント上昇となった。
○5月の県内中小企業の景況感は、▲21.0で
前月比▲8.0ポイントとなった。

○7-9月期の景況DI見通しは、製造業で前期比
5.0ポイント上昇、非製造業で同▲0.5ポイント
となった。売上高DI見通しは、製造業で前期
比2.5ポイント上昇、非製造業で同▲2.9ポイント
となった。

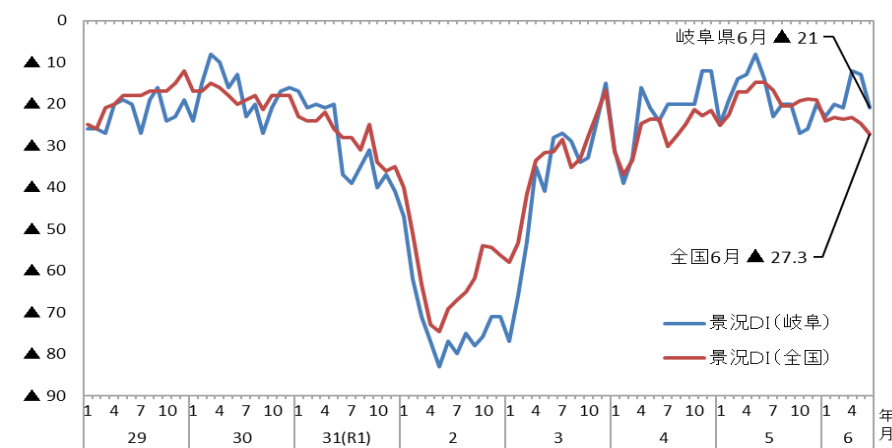
岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移 (令和2年=100)



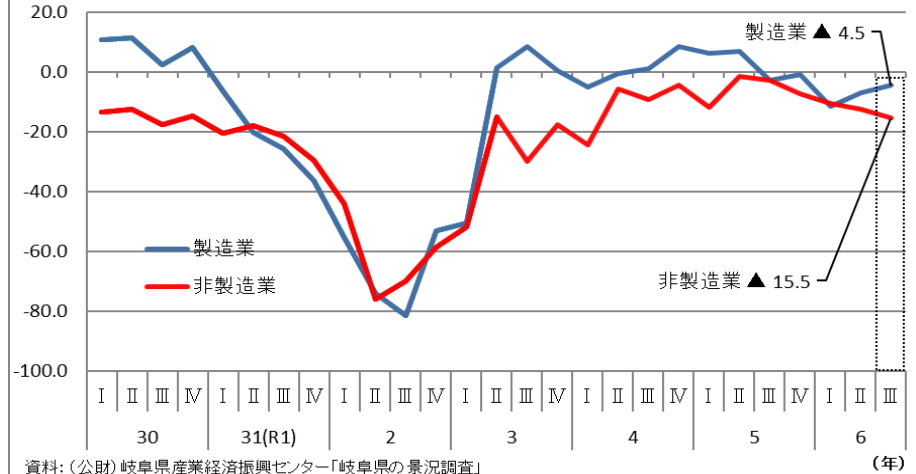
県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



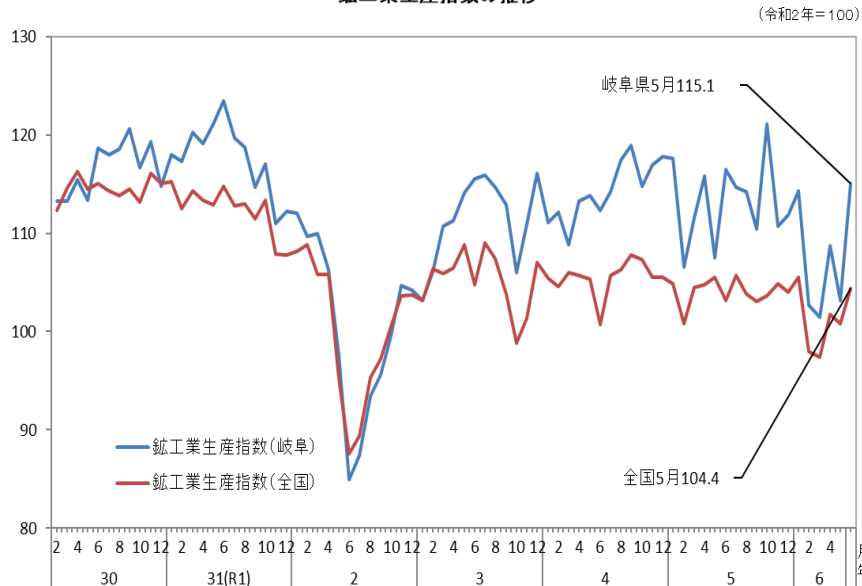
製造業

○5月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、115.1で前月比11.5%上昇となった。

○産業別の前月比では、輸送機械、化学工業、金属製品、非鉄金属、鉄鋼業、プラスチック製品工業、はん用、窯業・土石、電気機械で上昇した。

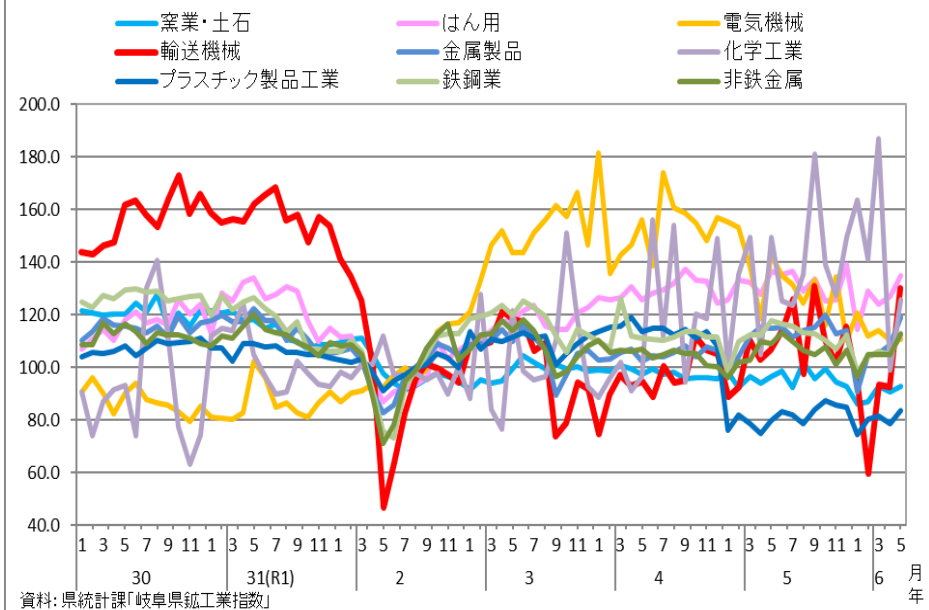
○5月の主な産業の指数は、輸送機械で前月比40.6%、化学工業で同26.9%、金属製品で同9.6%、非鉄金属で同7.6%、鉄鋼業で同7.4%、プラスチック製品工業で同6.6%、はん用で同6.5%、窯業・土石で同2.3%、電気機械で同0.5%上昇となった。

鉱工業生産指数の推移



主な産業の鉱工業生産指数

(令和2年=100)



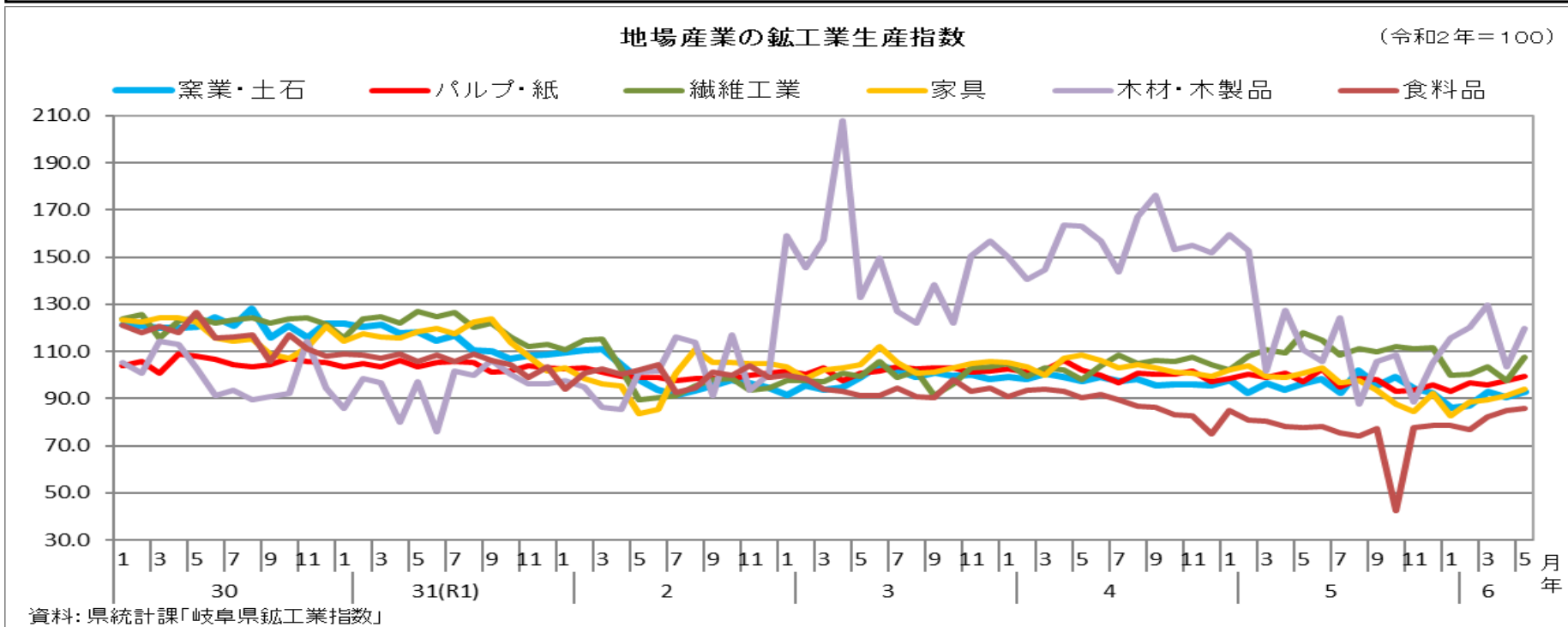
現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 中国EV向けの引き合いが減り受注が止まっていたが、今夏より再開した。(輸送機械器具)
- ◆ 大手自動車メーカーの販売計画変更により、利益率の高い部品の生産が減少し、利益率の低い部品を多く生産することになりそうであり、8月には影響が出そうである。(輸送機械器具)
- ◆ 大口の受注減により売上は10%減少し、コスト高騰と価格転嫁遅れにより利益は25%減少しているが、突破口が見つからない状態である。(生産用機械器具)

製造業-2

○5月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、木材・木製品で前月比15.7%、繊維工業で同9.8%、家具で同2.7%、窯業・土石で同2.3%、パルプ・紙で同1.5%、食料品で同1.5%上昇した。



現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 超高級ブランドと大手の価格訴求ブランドとの2極化が進み、中小零細企業は更に厳しくなる見込み。(繊維・アパレル)
- ◆ 仕入先の在庫が薄く、発注後3ヶ月から6ヶ月待ちの状況となっている。商品が売れても、補充する商品が届かない状態にあり、売上は減少傾向である。(窯業・土石)
- ◆ 製造にあたっての協力工場が少なくなってきたことと、継続している協力工場に依頼が集まっていることから、内製化を求められており、製造にかかる時間がこれまでより増加している。(刃物)

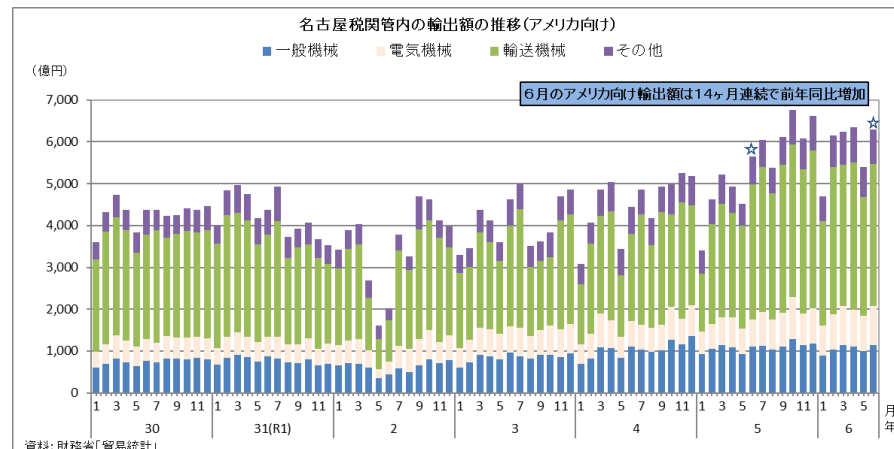
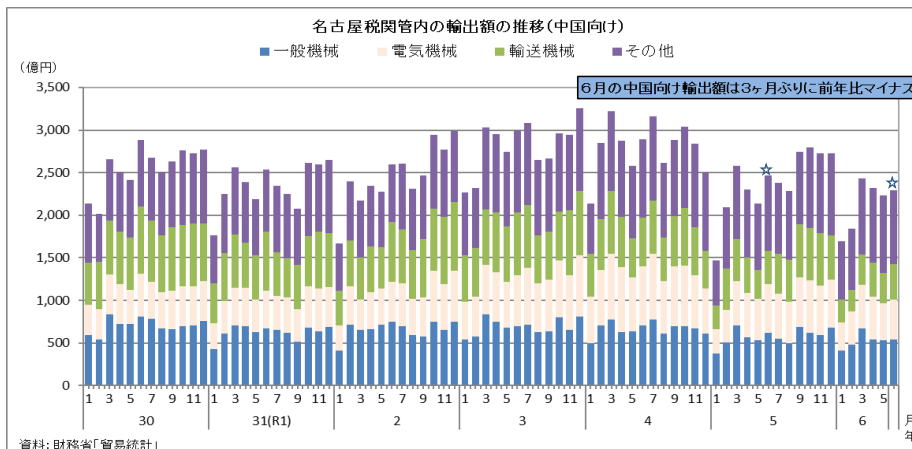
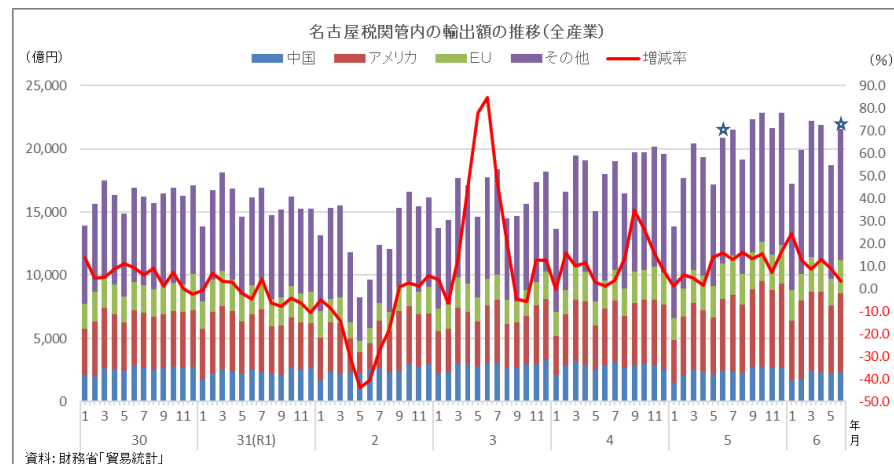
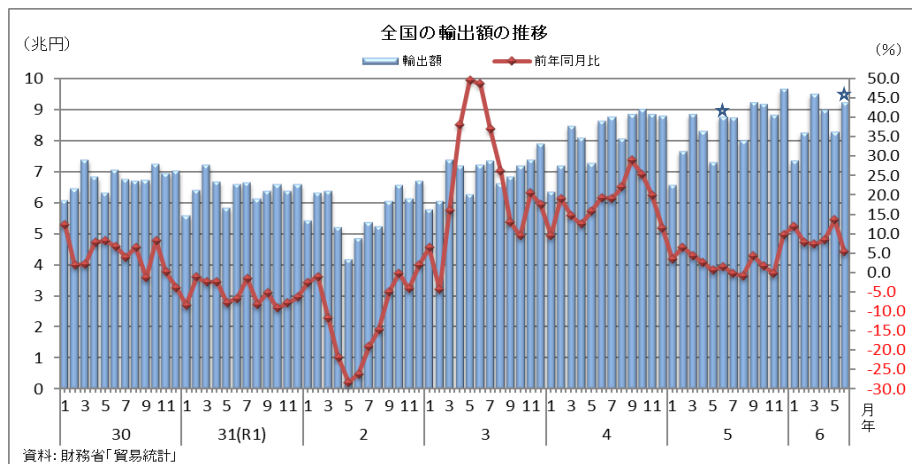
輸 出(名古屋税関管内)

○6月の輸出額(全国)は、9兆2,090億円と前年同月比5.3%増加となった。

○6月の輸出額(名古屋税関内)は、2兆1,569億円と前年同月比3.4%増加し、29ヶ月連続で前年同月を上回った。

○中国向けは、全体で前年同月比▲6.9%となった。その内、輸送機械で同4.7%増加した一方で、電気機械で▲17.4%、一般機械で同▲12.5%となった。

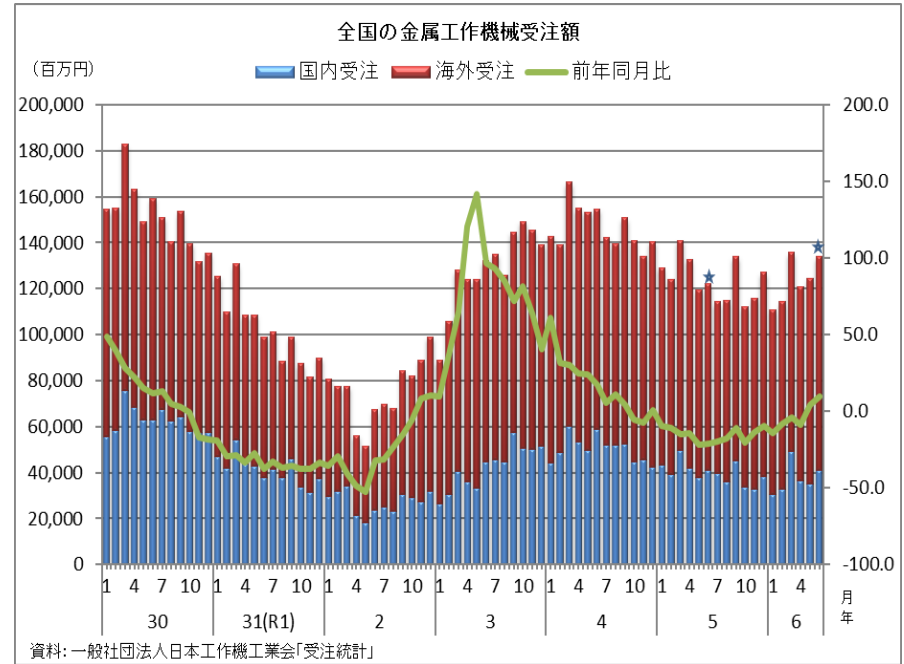
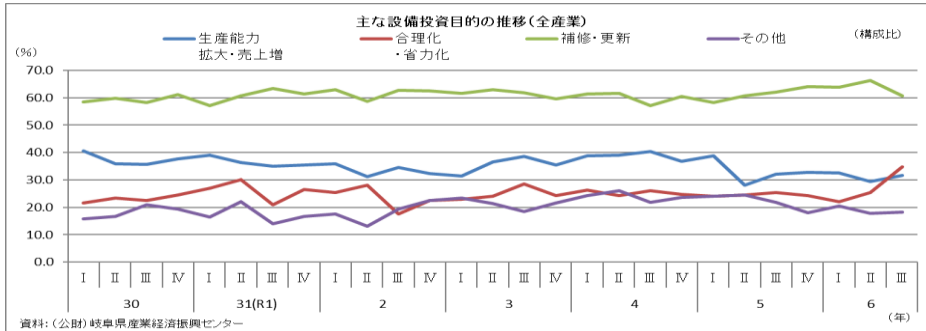
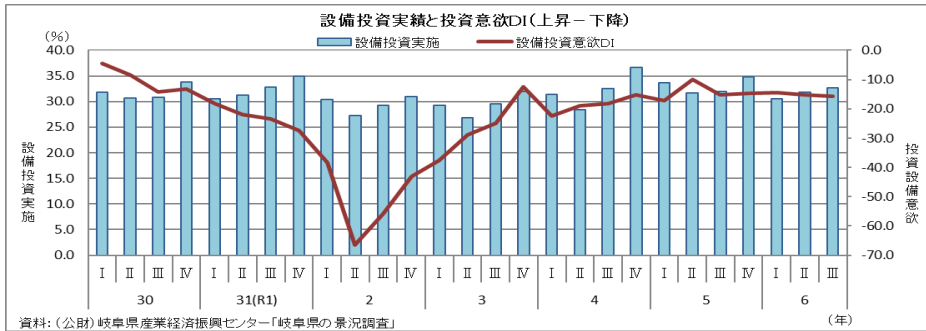
アメリカ向けは、全体で前年同月比11.4%増加となった。その内、電気機械で同41.9%、輸送機械で同5.5%、一般機械で同3.8%増加となった。



設備投資

○7-9月期の設備投資実施見通しは前期比0.9ポイント上昇、設備投資意欲DI実績は同▲0.6ポイントとなった。設備投資実施見通しの目的別では、「合理化・省力化」で前期比9.3ポイント、「生産能力拡大・売上増」で同2.1ポイント上昇、「補修・更新」で同▲5.6ポイントとなった。

○6月の全国の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比9.7%上昇と2ヶ月連続で前年を上回った。内訳は国内受注は同▲0.1%と22ヶ月連続で前年を下回り、海外受注は同14.6%と2ヶ月連続で前年を上回った。



現場の動き

- ◆ 飛翔体部門にて受注が増加するため、人材確保とともに、省力化のための設備導入を進める予定。(輸送用機械器具)
- ◆ EV化などの先行きが不透明であり、それに対応した投資計画を見合わせている。(プラスチック製品)
- ◆ 市町村の補助金を利用して、空調設備を更新予定。(刃物)
- ◆ 導入しようとする機器の価格が高騰していることで、投資タイミングを見送っている企業が多い。(金融機関)

原油・原材料高騰に伴う経済変動の影響について

- ◆ 原材料費の高騰分の価格転嫁には概ね応じてもらえているが、人件費分の価格転嫁に応じてもらえたのは1社のみで、他は話題にも上がらない状況。(非鉄金属)
- ◆ 全てのコストが上昇したため、カタログを新発刊し、価格転嫁することで採算を確保している。(窯業・土石)
- ◆ 製品の主な材料である鋼材の値上げがあった時は商品の価格も上げているが、その他の部分の材料費が上がった場合は価格転嫁ができていない。(刃物)
- ◆ 下請けで製造している部品のうち、価格が合わないものは廃盤にしている。(木工)

海外情勢に伴う経済変動の影響について

- ◆ EV製造サプライチェーンについては、中国から他国へのシフトの流れが進んでいる。当社も中国工場のウェイトを減らしていく方針。(非鉄金属)
- ◆ 円安による海外からの調達部品価格が上昇するため、計画していた海外調達を先送りにするケースが出てきている。(生産用機械器具)

「物流2024問題」の影響について

- ◆ 物流費の高騰により利益への影響があり、梱包・輸送方法の見直しで抑制を検討している。(はん用)
- ◆ 小口での配送を減らすなど、輸送費を節減する工夫をしている。(刃物)
- ◆ 運賃アップを引き続きお願いしているが、上げてもらえない。(運輸)
- ◆ 配送の注文時間を、前日夕方まで、または当日朝までにするなど、荷主に依頼をしており、理解と協力は得られやすくなっている。(運輸)

その他のヒアリング

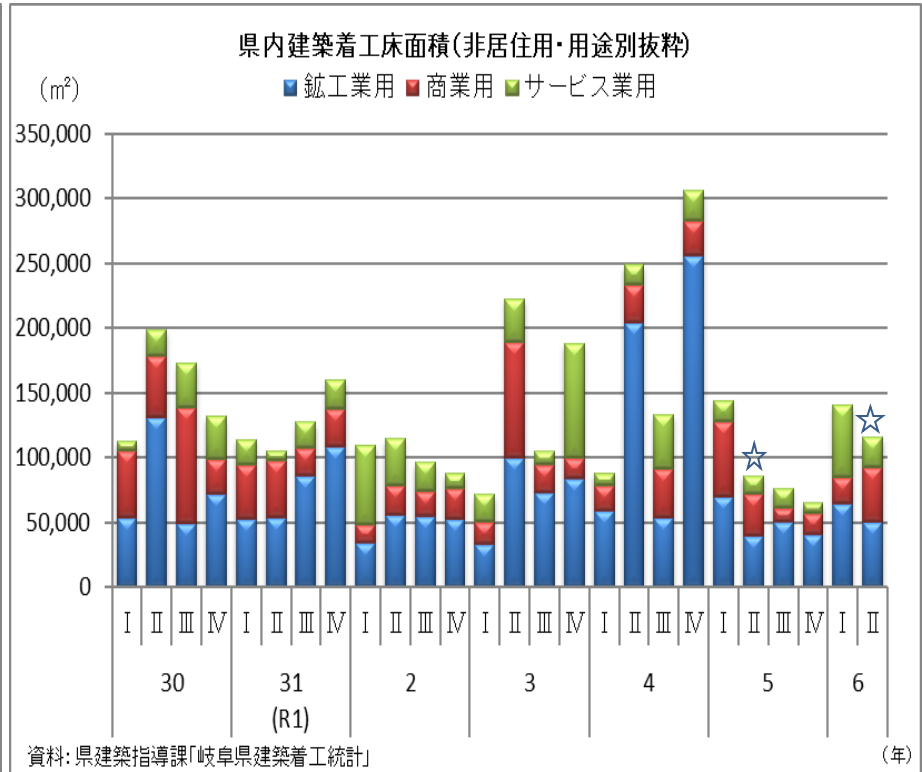
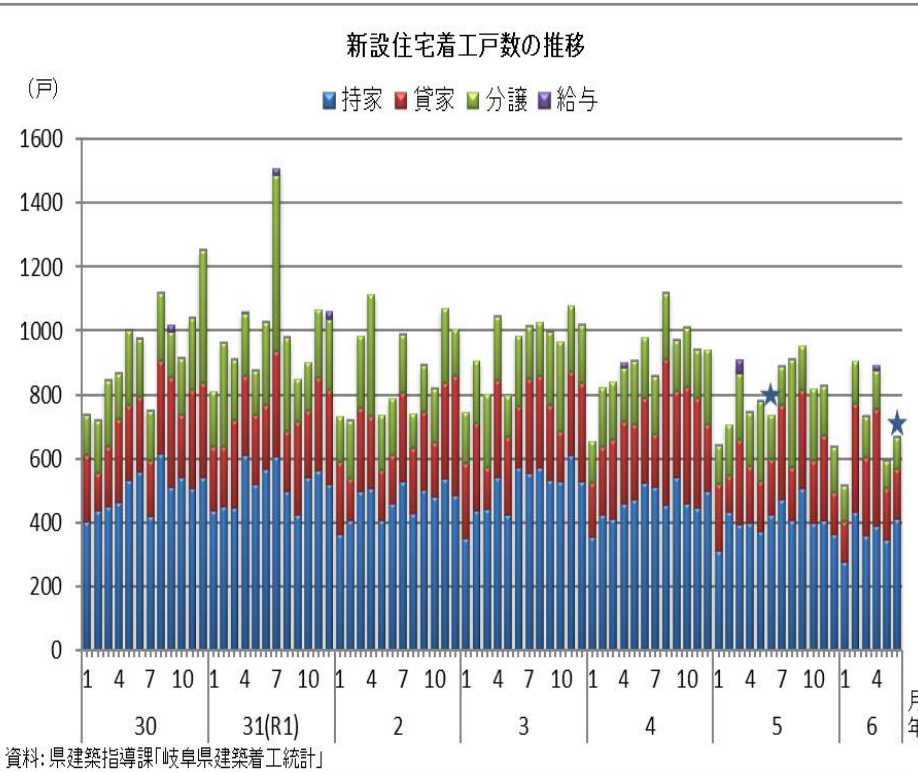
- ◆ 販売チャネルの変更や業態変化を行っている企業も、なかなか結果が出ず、投資分が回収できていない。(繊維・アパレル)

住宅・建築投資

○6月の住宅着工戸数は、前年同月比▲6.4%となった。

○分譲で前年同月比▲27.1%、貸家で同▲9.2%、持家で同▲3.3%となった。

○4-6月期の非居住用の建築着工床面積は、サービス業用で前年同期比64.4%、商業用で同30.6%、鉱工業用で同27.3%となり、全体で同34.8%上昇となった。

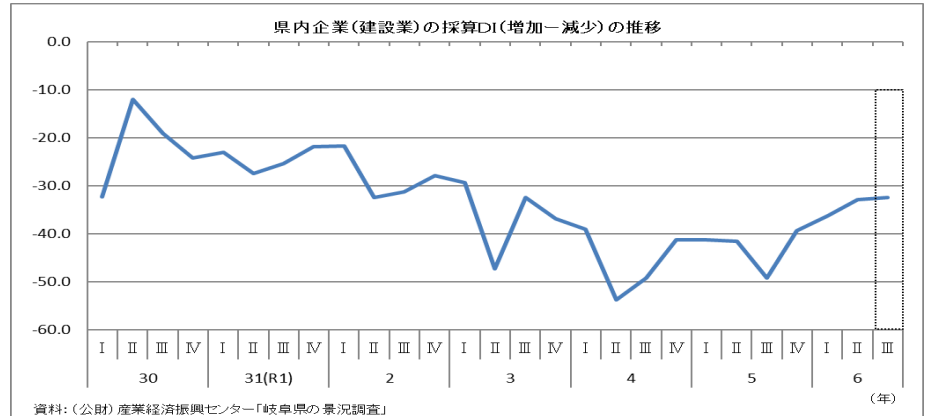
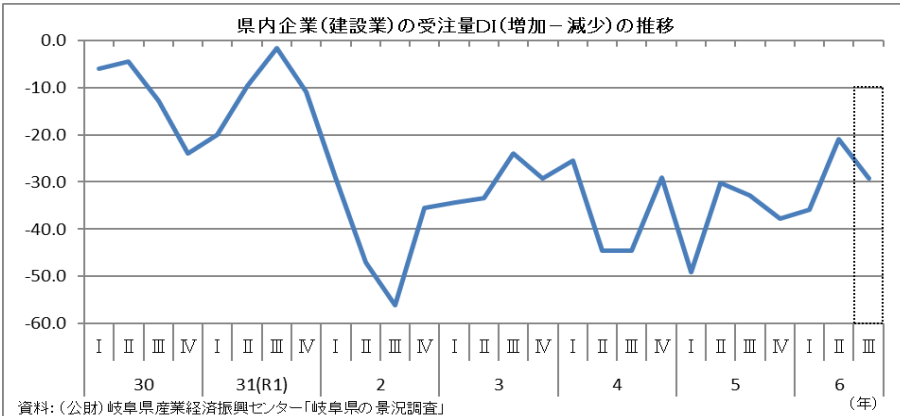
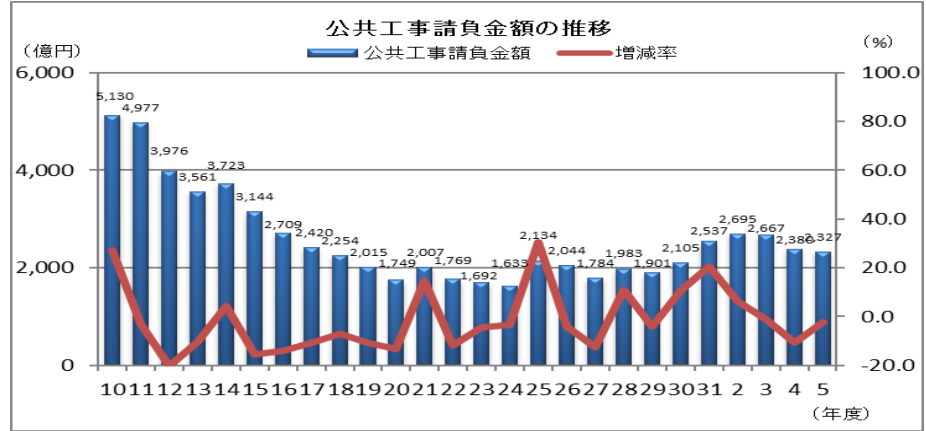
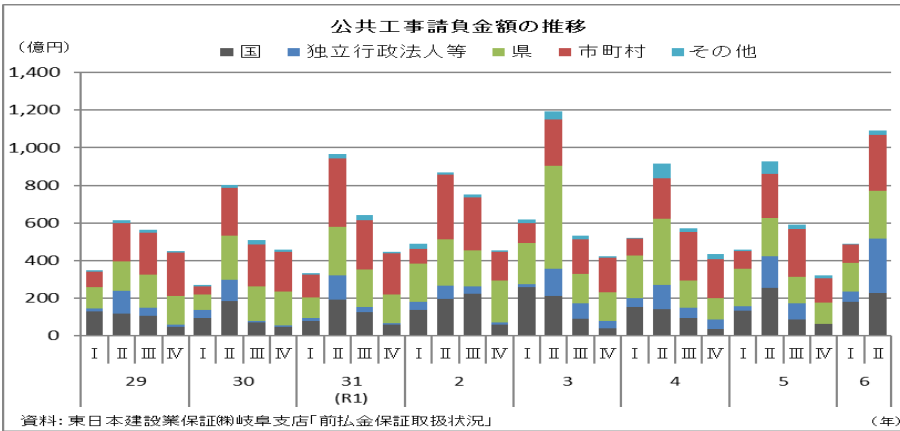


現場の動き

- ◆ 住宅着工数は減少し木材需要回復の兆しが見えないため、厳しい状況が今後も続く見通しである。(卸売)
- ◆ 非住宅関連の問い合わせが増加。住宅に関しては、分譲が減少している一方で、賃貸は増加している。(卸売)
- ◆ 来年4月から建築基準法の改正により、比較的小規模な住宅でも構造計算が必要となる。対応の準備を進めているが、設計にかかる経費が増加する分、住宅価格も値上げせざるを得ない見込み。(住宅)
- ◆ 仕入れコスト上昇分については、極力自社で吸収してきたが、限界を迎え、2~3%の値上げを実施予定。(住宅)

建設工事

- 4-6月期の発注者別の公共工事請負金額は、国で前年同期比▲10.2%、独立行政法人等で同71.7%、県で同25.7%増加となり、全体で同17.9%増加となった。
- 県内建設業の7-9月期の受注量DI見通しは前期比▲8.3ポイントとなり、同採算DI見通しは同0.5ポイント上昇となった。



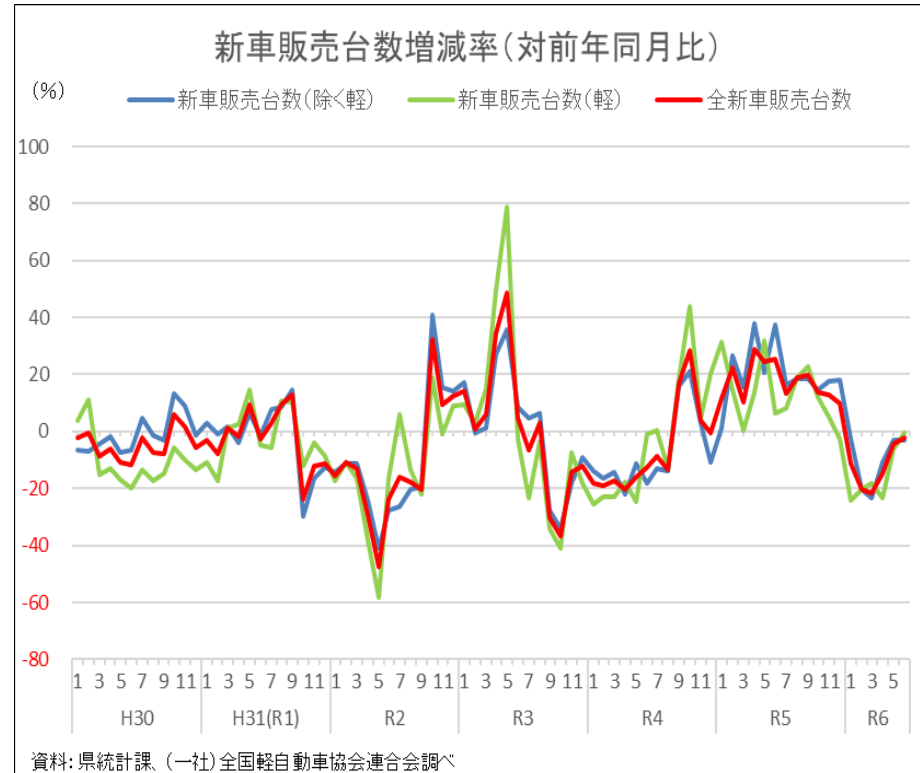
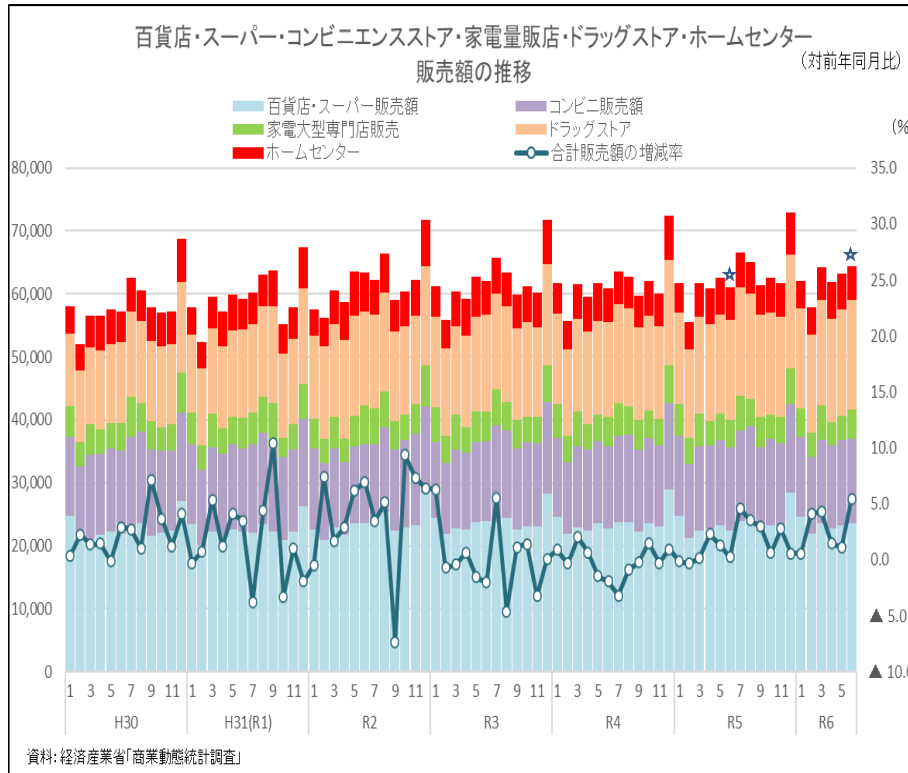
現場の動き

- ◆ 土木工事においては、公共工事発注量の減少により受注が前年度ほど見込めない状況。
 - ◆ 昨年と比べ完成工事高、受注高ともに非常に少ない。工事の発注量が少ないうえ、受注規模が小さくなっていると思われる。
- (以上、建設)

個人消費(流通・小売)

○6月は家電大型専門店が前年同月比10.0%、ドラッグストアで同8.4%、百貨店・スーパーで同5.2%、ホームセンターで同3.7%、コンビニで同1.4%となり、全体で同5.5%上昇となった。

○6月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比▲3.1%と6ヶ月連続で前年同月を下回った。軽自動車は同▲0.6%と7ヶ月連続で前年同月を下回った。合算では同▲2.3%と、前年同月を6ヶ月連続で下回った。



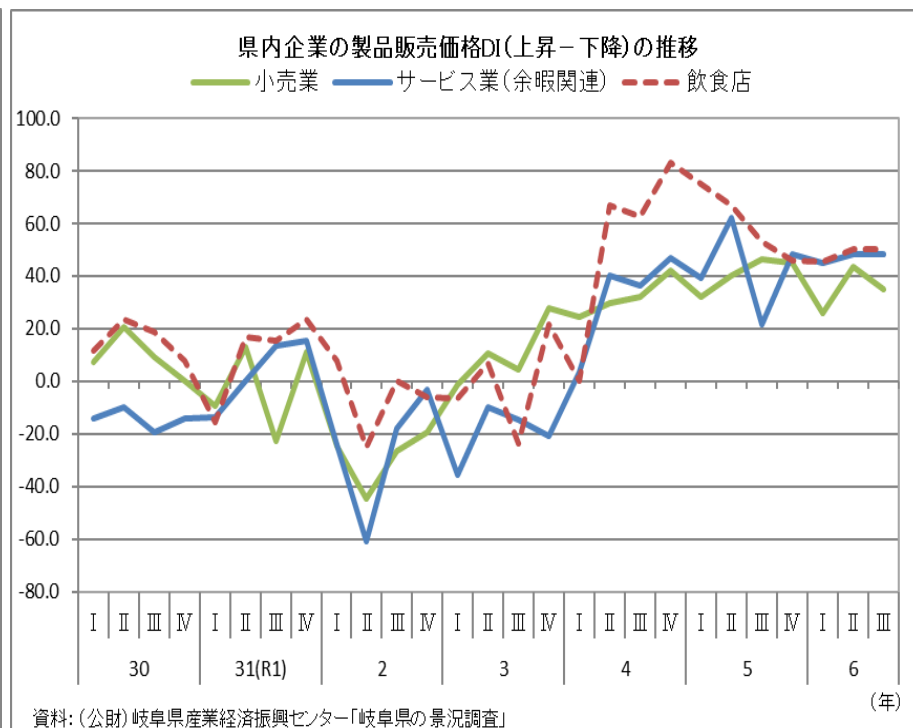
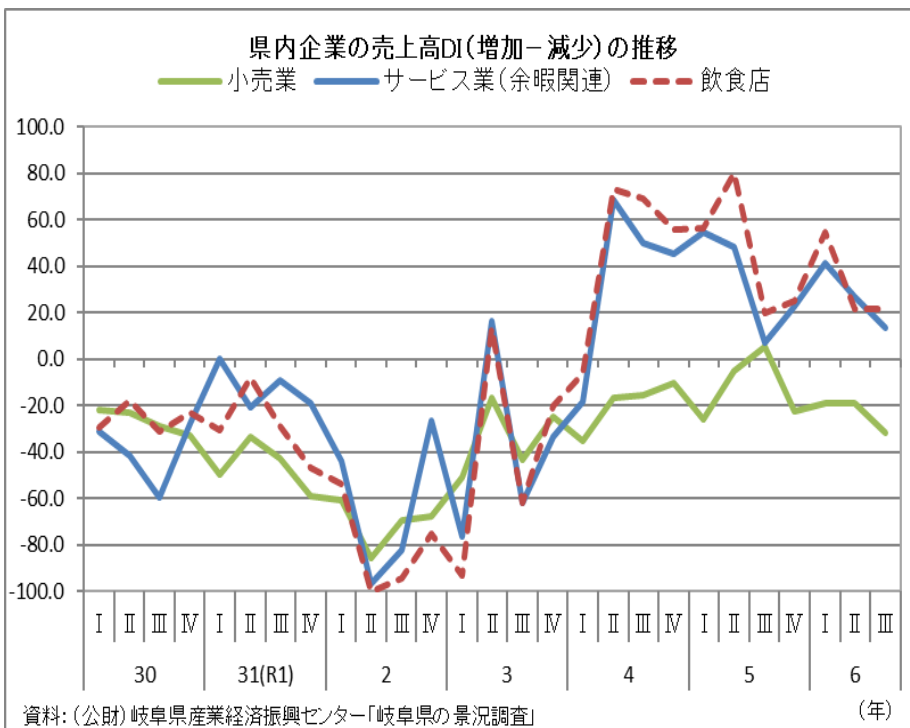
現場の動き

- ◆ 客数、買上げ点数ともに前年を上回った。各商品を毎月値上げしている。
 - ◆ 多少の値上げはできているが限界があるため、価格転嫁にはあまりつながっていない。
 - ◆ 飲食店はカフェ業態が堅調。人員不足により休業日を設けている店舗がある影響で飲食全体の令和元年度対比は90%に届かない見込み。
- (以上、県内商業施設)

個人消費(流通・小売)－2

○7－9月期の売上高DI見通しは、飲食店で前期比同率、サービス業(余暇関連)で同▲13.4ポイント、小売業で同▲12.7ポイントとなった。

○同じく販売価格DI見通しは、飲食店、サービス業で前期比同率、小売業で同▲8.5ポイントとなった。



現場の動き

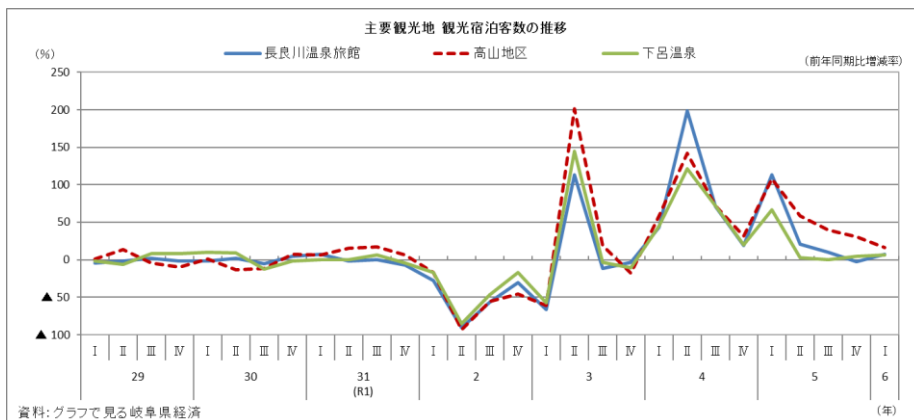
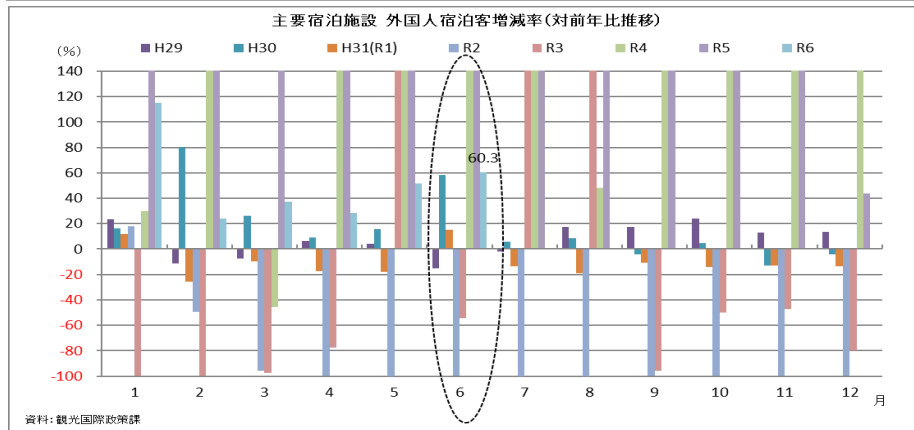
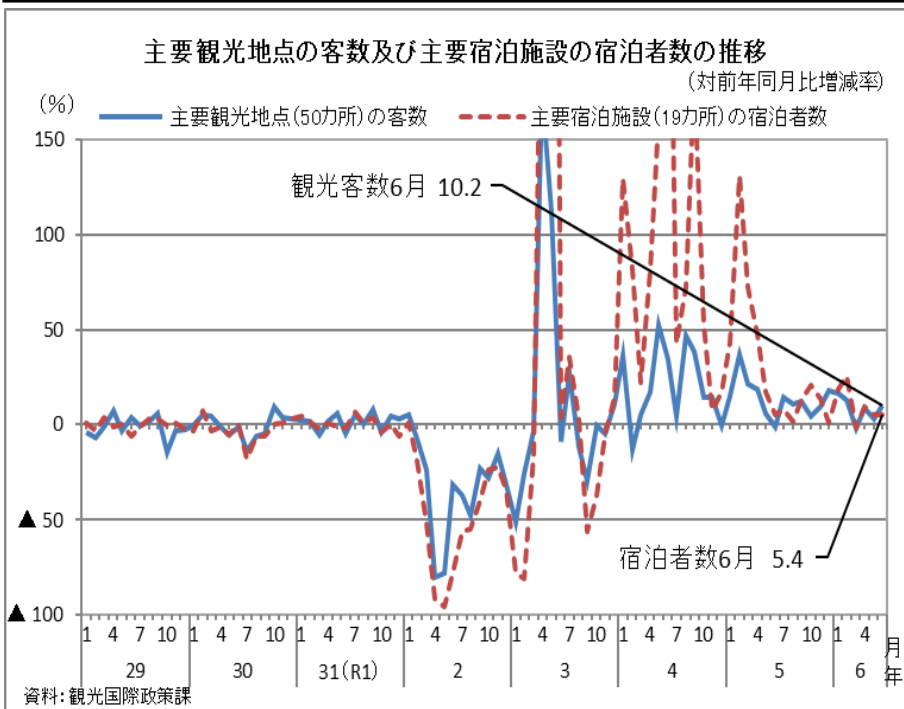
- ◆ 梅雨明け前は雨で、梅雨明け後は猛暑で人手がほとんどなく、売上は前年同月比で80%程度。(大垣市商店街)
- ◆ 業界的に箱モノの動きが悪く、低調な状況なので、まずは客数優先で価格は維持している。(大垣市商店街)
- ◆ 仕入れロットの拡大で仕入れに運賃がかかるケースが増えた。度重なる値上げもあり、この経費をすべて転嫁するのは難しい。(高山市商店街)
- ◆ アジア系のインバウンドが増えつつある。(多治見市商店街)

観光

○主要観光地における6月の観光客数は、前年同月比10.2%増、コロナ前の令和元年同月比では、4.7%減となっている。

○主要宿泊施設における6月の宿泊者数は、前年同月比5.4%増、令和元年同月比では、12.8%減となっている。

○6月の主要宿泊施設における外国人宿泊者数は、コロナ前の令和元年同月比では、15.9%増となっている。

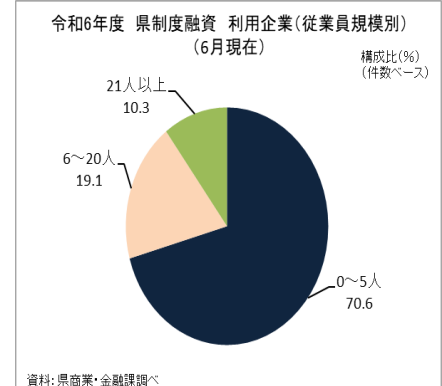
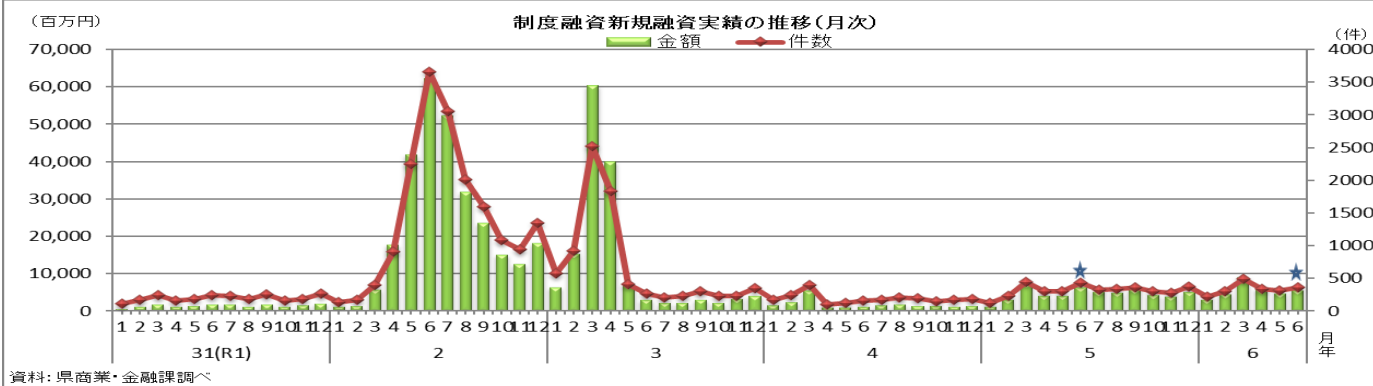
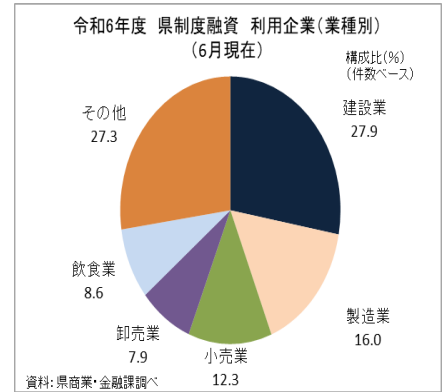
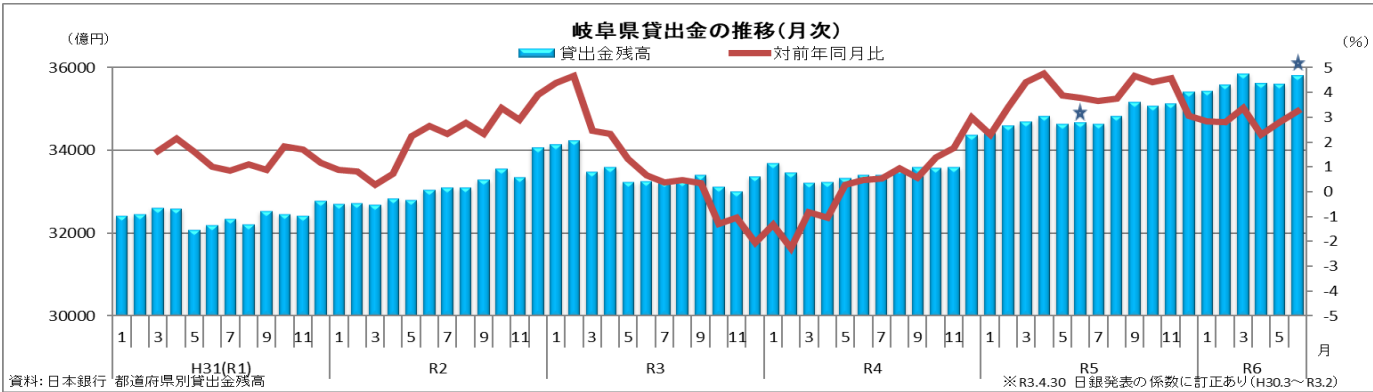


現場の動き

- ◆国内需要が伸びていない。(高山市、下呂市の宿泊施設)
- ◆原材料やエネルギーコストの高騰が続いている。(高山市、下呂市の宿泊施設)
- ◆人材不足が深刻化している。日本人の人材確保が困難。(岐阜市、高山市の宿泊施設)
- ◆外国人雇用が増加。(高山市、下呂市の宿泊施設)

資金繰り

- 6月の岐阜県貸出金残高は、3兆5,814億円 で前年同月比3.2%増加し、26ヶ月連続で増加。
- 6月の制度融資実績は、金額が5,629百万円で前年同月比▲13.9%、件数は357件で同▲17.6%と、金額は17ヶ月振りに、件数は16ヶ月振りに減少した。
- 制度融資利用企業の従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の70.6%を占めている。



現場の動き

- ◆ 資金需要に関しては、特段大きな動きが見られていない。人件費を上げざるを得ない事業者の支払い負担増加分についての運転資金需要といった、後ろ向きな運転資金の利用が見られた。
 - ◆ 伴走支援型特別保証制度について、保証申込が終了となった6月の申込は予想に反して少なかった。
- (以上、金融機関)

資金繰りー2

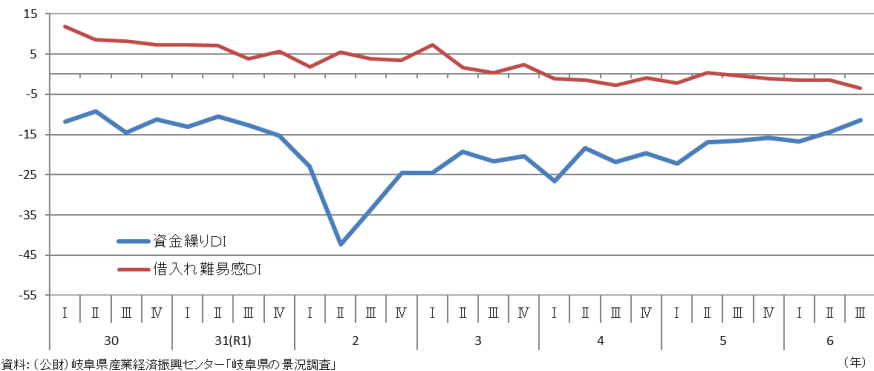
○7-9月期の資金繰りDI見通しは▲11.5で、前期比2.9ポイント上昇となった。同借入難易感DI実績は▲3.4で、前期比▲2.0ポイントとなった。

○4-6月期の主要資金別新規制度融資実績は、返済ゆったり資金で前年同期比1879.3%増加、元気企業育成資金で同50.3%増加と9期連続で増加した一方で、経済変動対策資金で同▲28.9%となった。

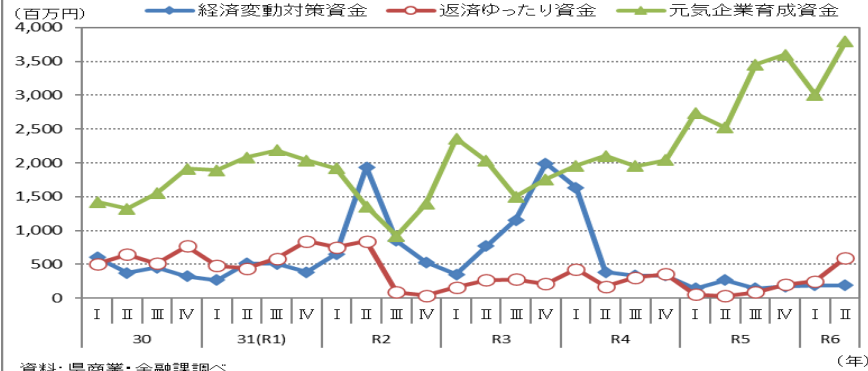
○6月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が70件で前年同月比22.8%増加、金額は1,731百万円で同58.5%増加となった。

○6月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は61件で前年同月比▲37.1%、金額は734百万円で同▲21.0%となった。

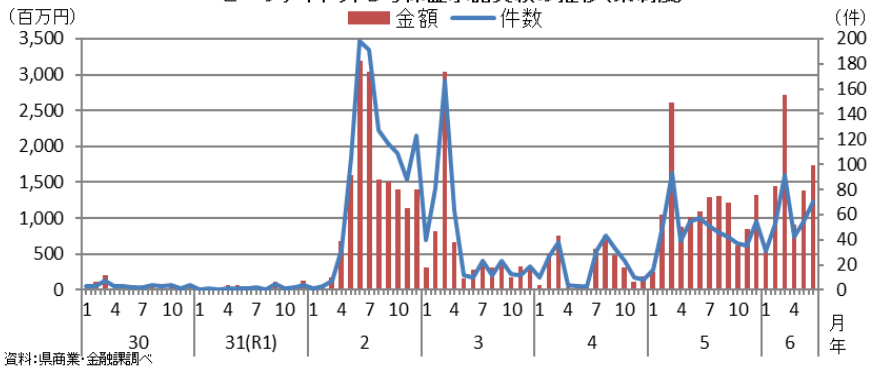
県内企業の資金繰りDI(好転-悪化)及び借入難易感DI(容易-困難)の推移



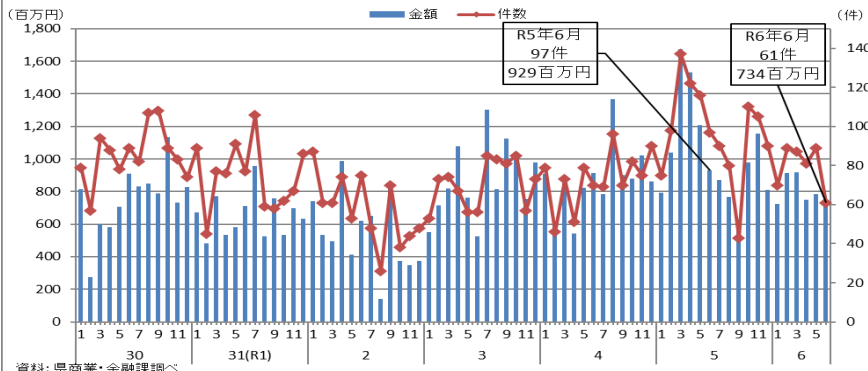
主要資金別新規制度融資額実績の推移



セーフティネット5号保証承諾実績の推移(県制度)

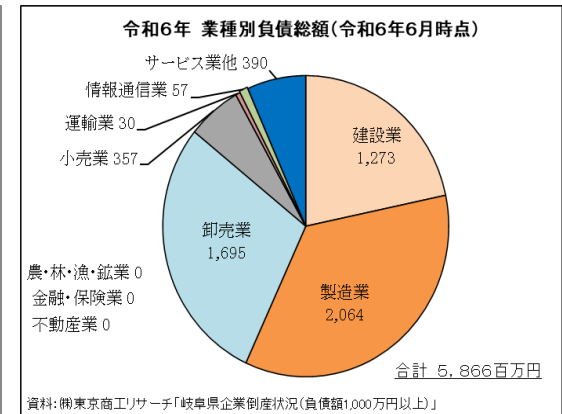
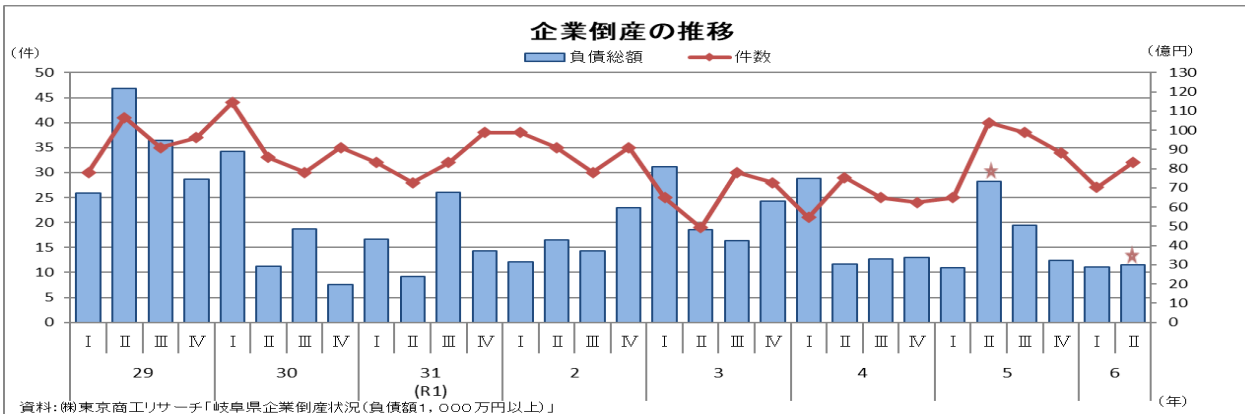
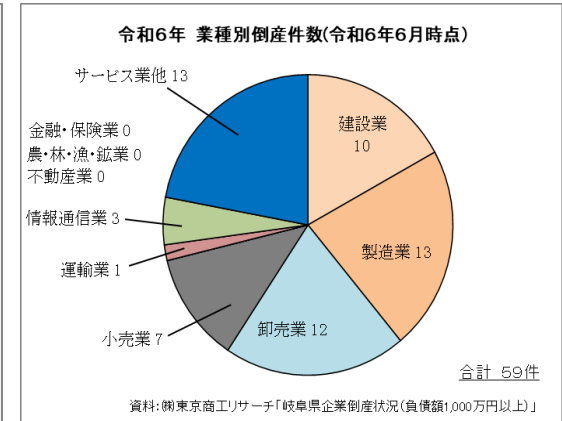
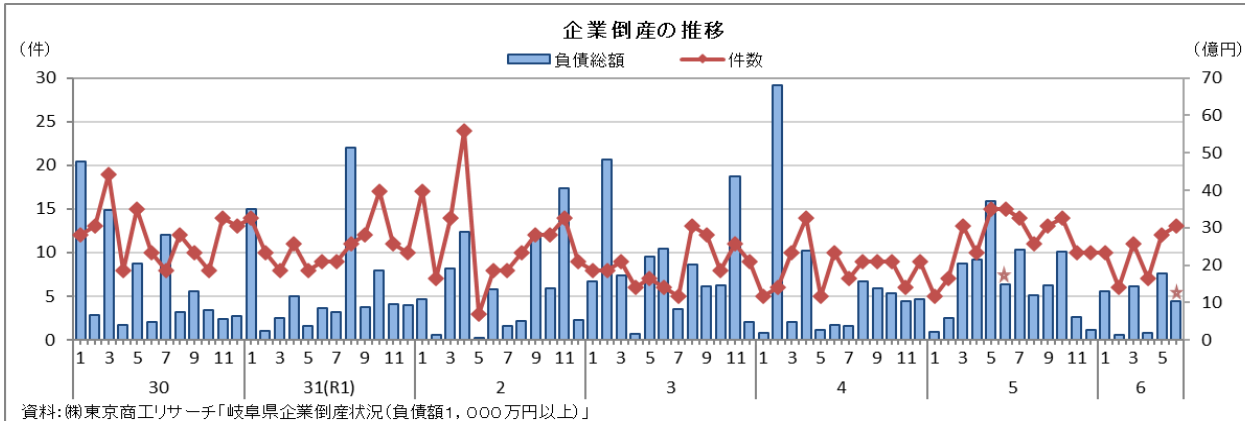


県信用保証協会 事故報告受付状況(毎月)



倒産

○6月単月の倒産件数は13件、負債総額は前月比▲747百万円の1,025百万円となった。
 ○令和5年6月は負債総額1億円以上の倒産は5件発生したのに対して、令和6年6月は同倒産4件となった。負債総額は前年同月比▲256百万円となった。



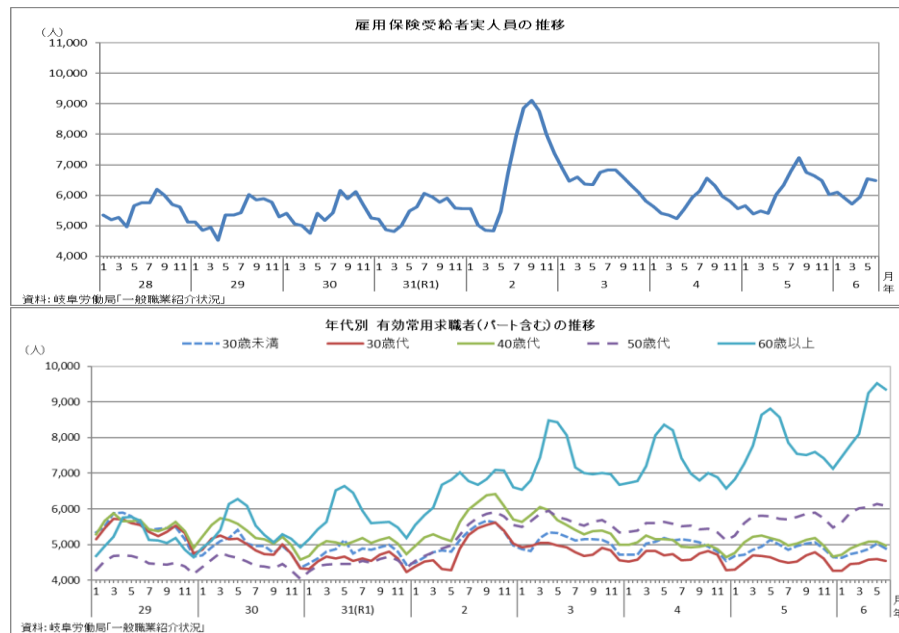
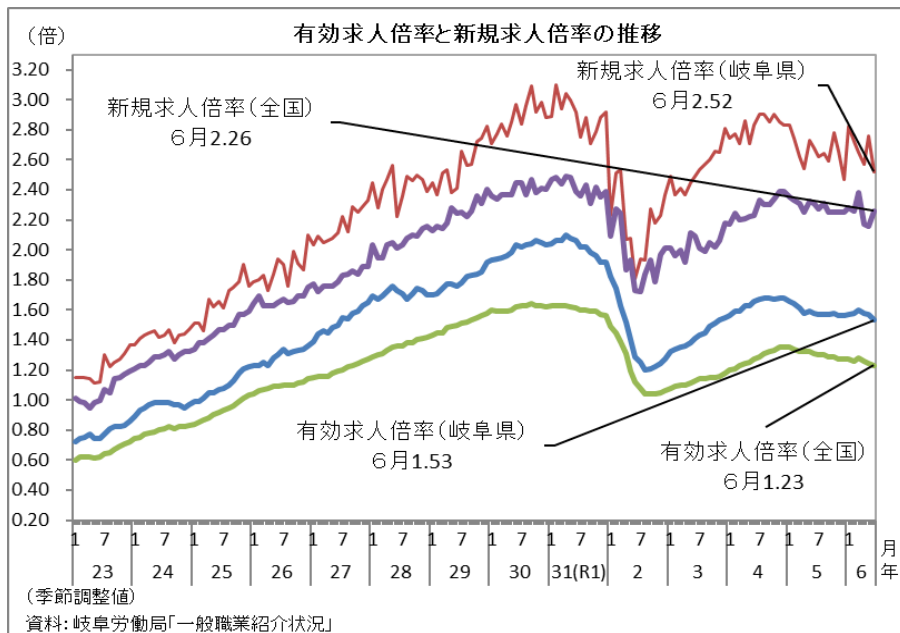
専門機関の分析(東京商工リサーチ・7月9日時点)

◆ 経済情勢としては、日経平均株価の高値推移やインバウンド需要の回復などは鮮明となっているが、為替相場の過度な円安基調による物価高や人件費等のコストアップは続く見通しにある。「ゼロゼロ融資」は4月に返済開始の最後のピークを迎えており、この返済負担に伴い事業継続を断念するケースも発生している。今後の倒産動向においては売上回復が遅れた企業の息切れ倒産や売上増に資金調達が進まない赤字倒産等で増加基調を辿る可能性が高いものと推察される。

雇用

- 6月の有効求人倍率は1.53倍と、前月比 ▲0.04ポイントとなった。
- 6月の新規求人倍率は2.52倍と、前月比 ▲0.24ポイントとなった。

- 6月の雇用保険受給者人員は、前月比 ▲0.7%となった。
- 有効常用求職者は、50歳代以上で、前年同月比で上昇した。



現場の動き

- ◆ 外国人、中途採用、派遣などを含めて先月から5名採用としたが、常に人手不足であり解消されない。(輸送用機械)
- ◆ 多能工を増やす事で人手不足を補っていく。ITスキルのある人材が不足しており、教育が必要。(窯業・土石)
- ◆ 雇用した人材をいかにして育てていくか、離職率を減らせるかが課題。(住宅)
- ◆ 中途採用の受け入れを促進しており、前職種、業種にこだわらず受け入れている。しかしながら即戦力になる人材の入職はない。(建設)
- ◆ 正社員に対して一律賃上げを実施した。パートは上げすぎてしまうと所得制限に引っかかり、働ける時間が短くなってしまうので、従業員と話をしながら対応している。(木工)

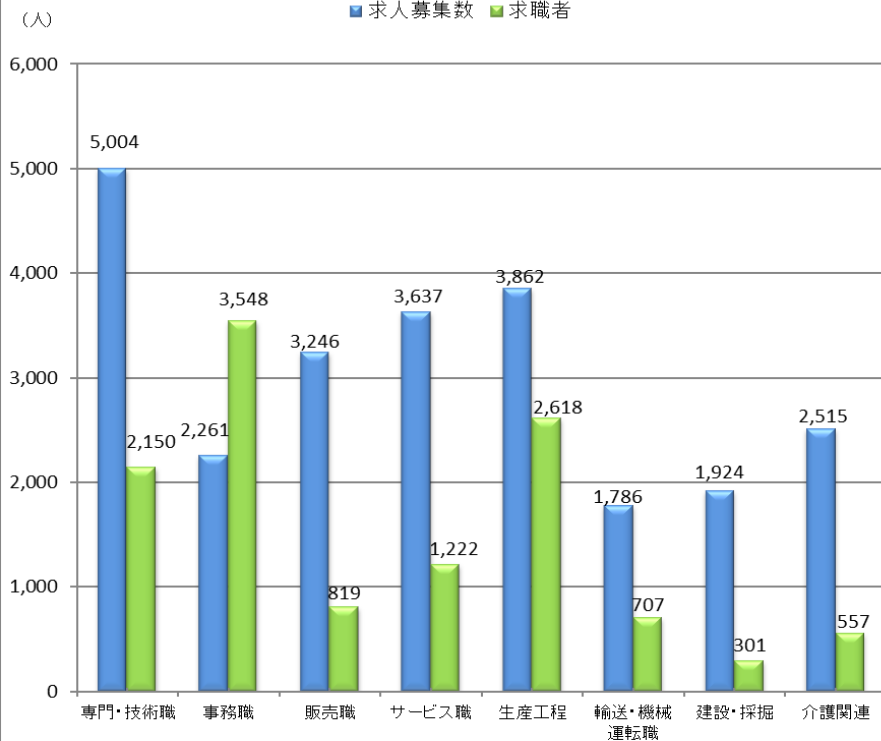
雇 用(職業別)

○有効求人倍率は、建設・採掘で6.39倍、介護関連で4.52倍、販売職で3.96倍、サービス職で2.98倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.64倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

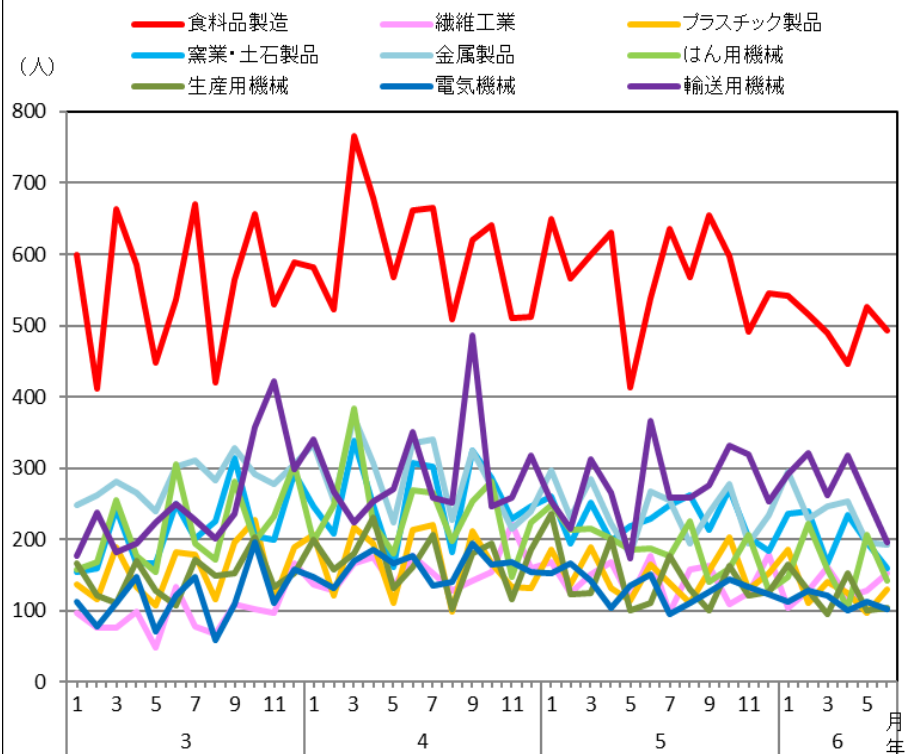
○5月の主要産業別の新規求人数は、輸送用機械で前年同月比▲46.4%、電気機械で同▲31.8%、窯業・土石で同▲30.1%、金属製品で同▲27.7%、はん用機械で▲24.5%、プラスチック製品で▲21.2%、繊維工業で同▲13.6%、食料品製造で同▲8.4%、生産用機械で同▲7.1%となった。

6月 職業別有効求人募集数・有効求職者数(常用的フルタイム)



資料: 岐阜労働局「求人・求職バランスシート」

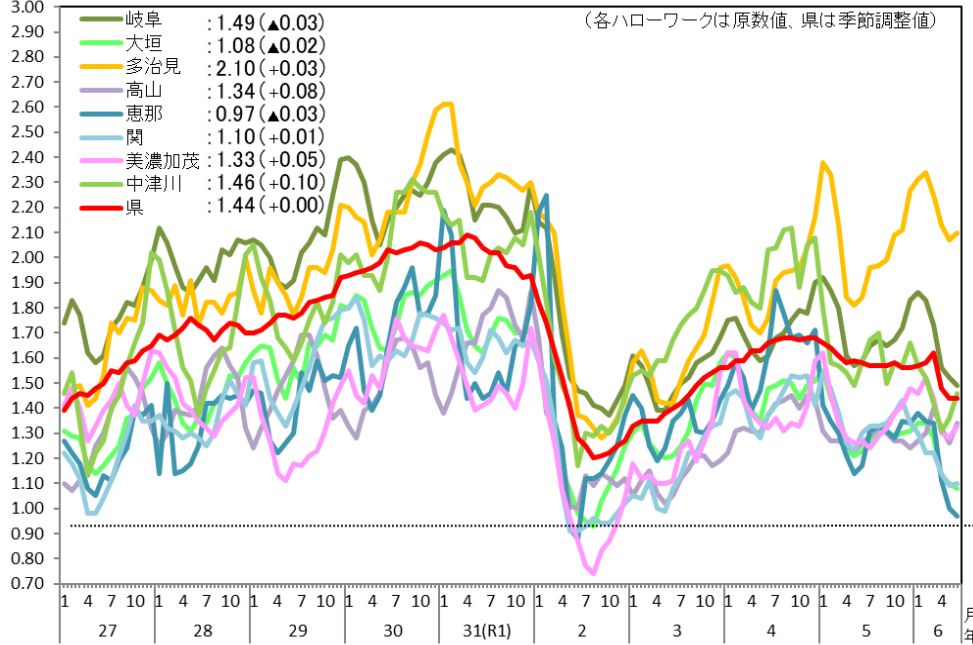
主要産業別 新規求人数(一般+パート)推移



資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

雇用(地域別)

主なハローワーク別の有効求人倍率



注1: 大垣所分は揖斐出張所分を含む 注2: 平成21年4月以降の関所分は岐阜八幡出張所を含む
資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

〇6月の主なハローワーク別の有効求人倍率は、多治見、高山、関、美濃加茂及び中津川で前月比で増加となった。

現場の動き(前月比)

<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数は増加、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数は増加、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数は減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数は減少、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は減やや増加。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数はやや増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<窓口の様子>※前月比

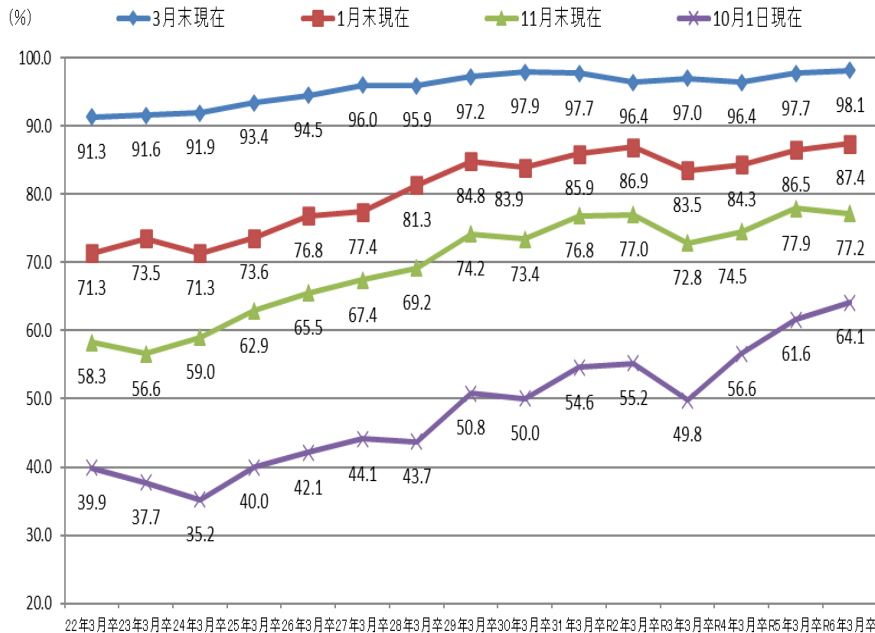
- ◆恵那で混雑している、大垣、高山、関、美濃加茂で先月と同じくらい、岐阜、多治見でやや空いている、中津川で空いている状況。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

○岐阜県の令和6年3月末現在の大学・短大卒業者(令和6年3月卒業)の就職内定率は、98.1%であり、前年同時点と比べ0.4ポイント上昇となった。

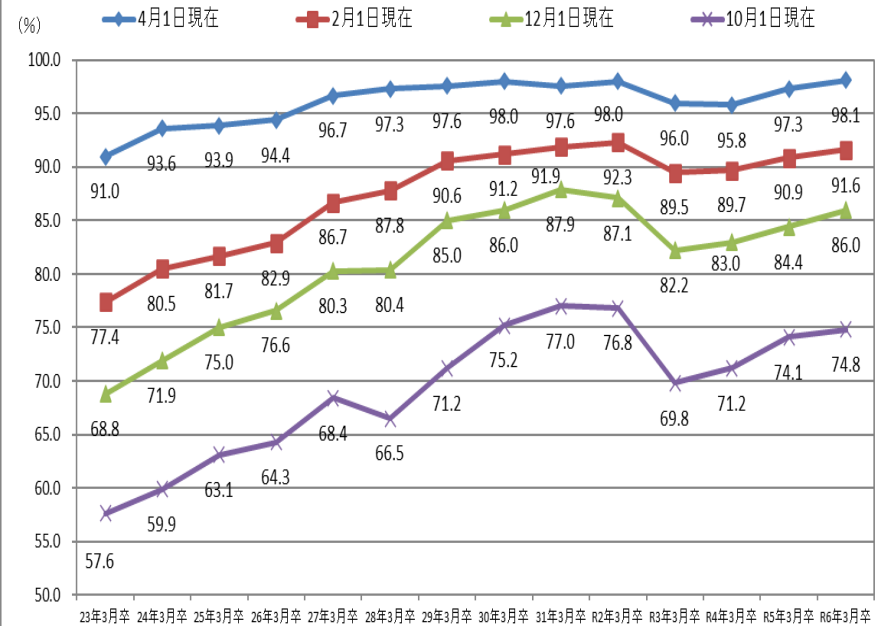
○全国の令和6年4月1日現在の大学卒業者(令和6年3月卒業)内定率は98.1%であり、前年同時点と比べ1.5ポイント上昇した。

新規卒業者(大学・短大)の就職内定率の推移<岐阜県>



資料:岐阜労働局「新規学校卒業者(大学・短大)の就職内定状況」

新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



資料:厚生労働省「大学等卒業予定者の就職状況調査」

現場の動き(2025卒、2026卒の動きなど)

<大学へのヒアリング>

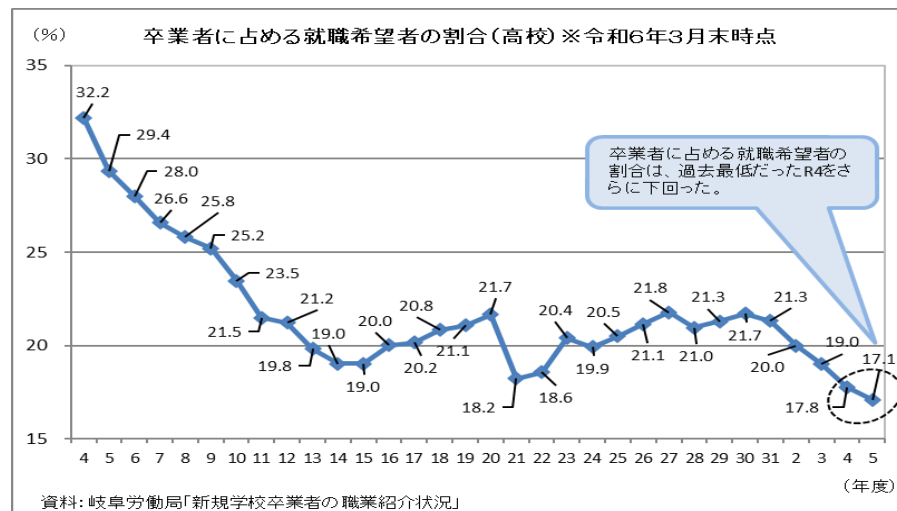
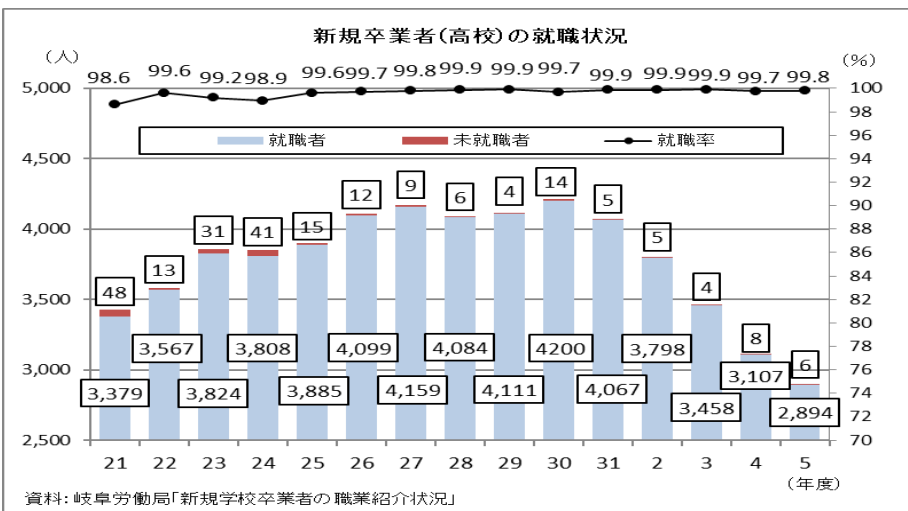
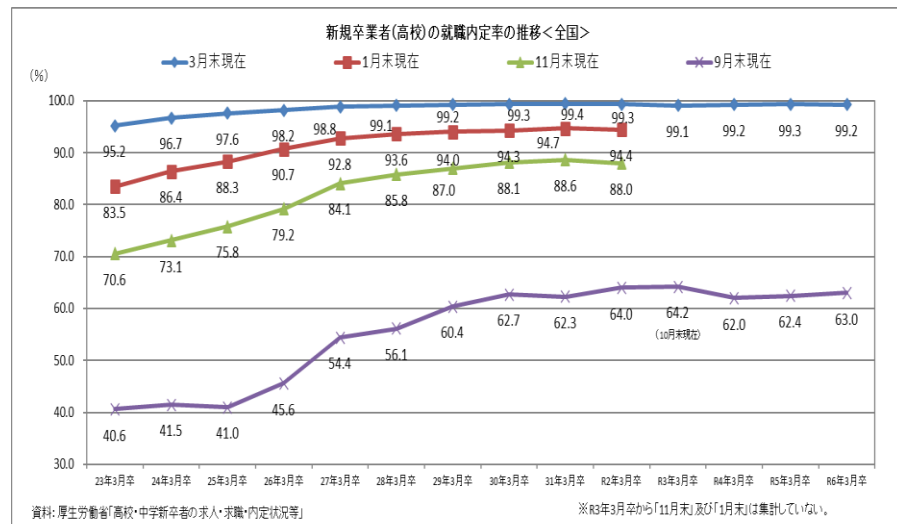
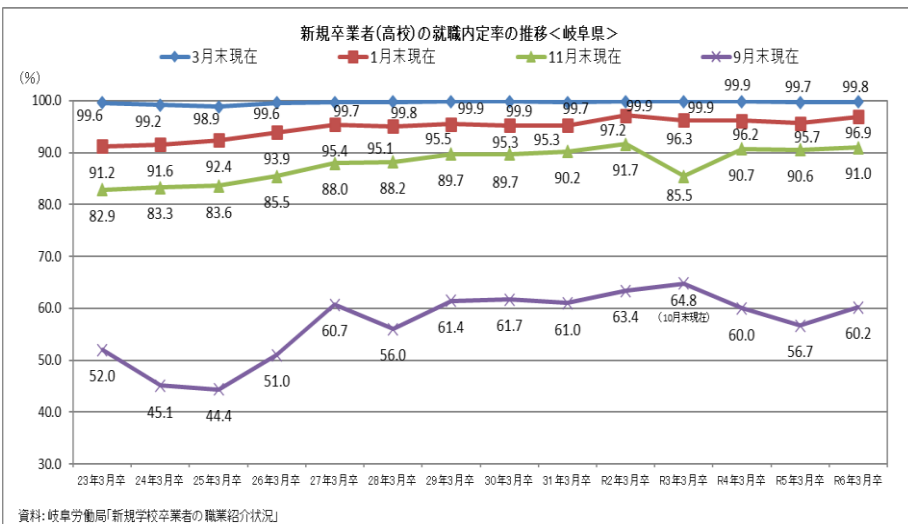
- ◆ 25年卒からの相談は減ってきており、内定状況は昨年より順調と思われる。公務員志望から民間企業への変更の相談が少し出てきている。
- ◆ 26年卒は相談が少し増えてきている。インターンシップ参加や書類作成についての相談がほとんどである。

(以上、岐阜・愛知県内大学)

雇 用(高校新卒者の就職)

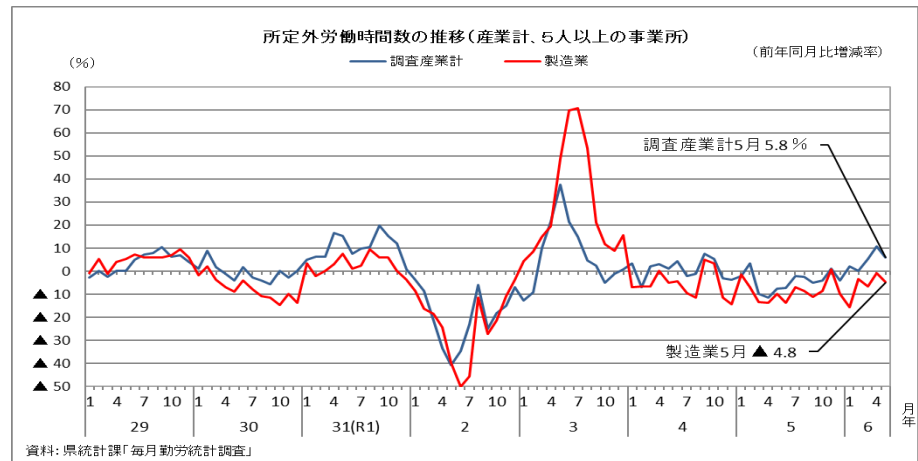
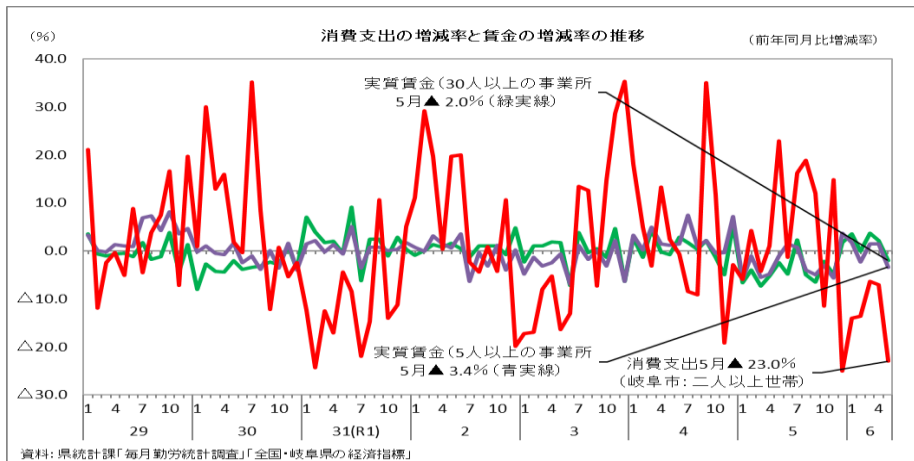
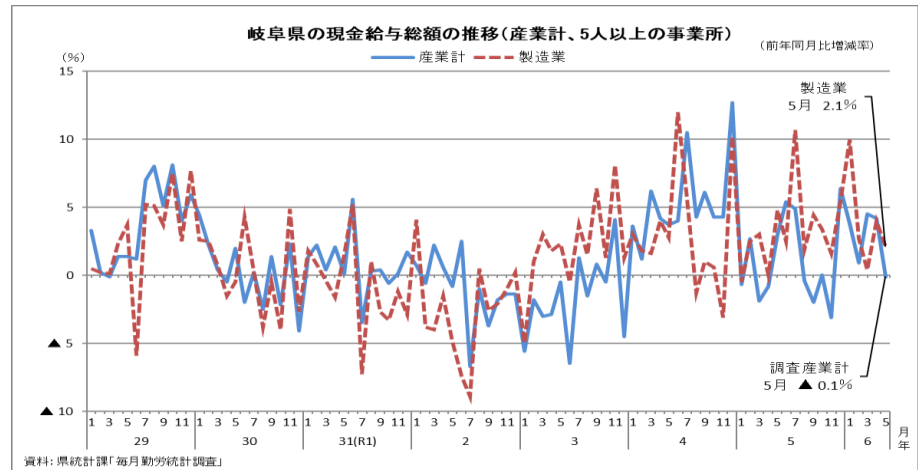
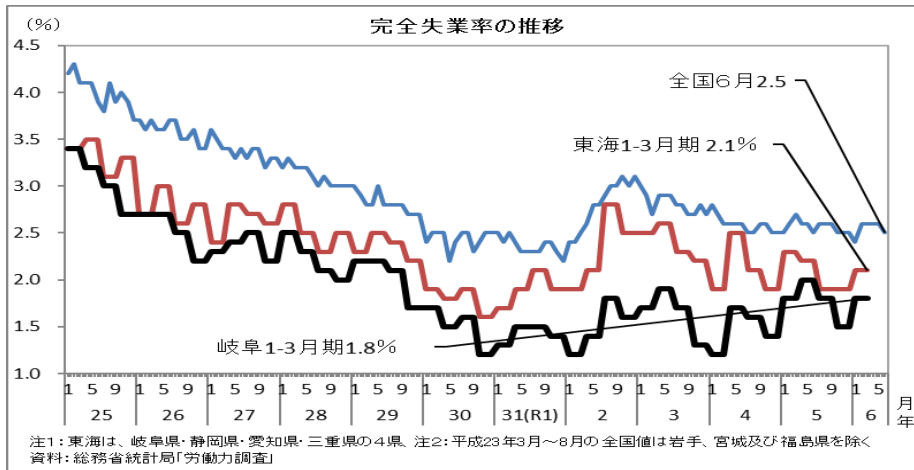
○岐阜県の令和6年3月末現在の高校卒業者(令和6年3月卒業)の就職内定率は99.8%であり、前年同時点と比べ0.1ポイント上昇した。

○全国の令和6年3月末時点の高校卒業者(令和6年3月卒業)の就職内定率は99.2%であり、前年同時点と比べ▲0.1ポイントとなった。



雇 用(完全失業率等)

- 全国の6月の完全失業率は2.5%で前月比同水準となった。岐阜県の1-3月期の平均は1.8%で前期比0.3ポイント上昇となった。
- 5月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比▲0.1%、製造業で同2.1%上昇となった。
- 5月の実質賃金増減率は、30人以上の事業所で前年同月比▲2.0%、5人以上で同▲3.4%となった。5月の消費支出については同▲23.0%となった。
- 5月の所定外労働時間数は前年同月比5.8%上昇となった。



＜経済・雇用の現状（総括）＞

- 製造業は、5月の鉱工業生産指数は11.5%上昇となった。ヒアリングでは、中国EV向けの引き合いが減り受注が止まっていたが、今夏より再開したとの声が聞かれた。一方で、大手自動車メーカーの販売計画変更により、利益率の高い部品の生産が減少し、利益率の低い部品を多く生産することになりそうであるとの声や、大口の受注減により売上は減少、コスト高騰と価格転嫁の遅れにより利益も減少しているが、突破口が見つからない状態であるとの声が聞かれた。
- 地場産業は、5月の鉱工業生産指数は、全産業で上昇した。ヒアリングでは、超高級ブランドと価格訴求ブランドとの2極化が進み、中小零細企業は更に厳しくなる見込みとの声や、仕入先の在庫が薄く、商品が売れても、補充する商品が届かない状態にあり、売上は減少傾向であるとの声が聞かれた。
- 設備投資は、6月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比9.7%上昇となった。ヒアリングでは、受注増加に備え、人材確保とともに、省力化のための設備導入を進める予定との声が聞かれた一方で、導入する機器の価格が高騰しており、投資タイミングを見送っている企業が多いとの声が聞かれた。
- 個人消費は、6月の販売額は、全産業で前年同月比で上昇し、全体で同5.5%上昇となった。ヒアリングでは、客数、買上げ点数ともに前年を上回った。各商品を毎月値上げしているとの声が聞かれた一方で、人員不足により休業日を設けている店舗がある影響で飲食全体の売上がコロナ禍前と比較して戻っていないとの声が聞かれた。
- 観光は、観光客数、インバウンド客の増加等により、観光客数、宿泊者数ともに前年同月と比較しプラスとなるなど、回復傾向にあり、観光客数、宿泊者数ともにコロナ前の約9割まで戻ってきている。宿泊施設からのヒアリングでは、人手不足に苦慮しているとの声が多くあり、外国人人材を活用する施設もあった。
- 企業の資金繰りは、6月の制度融資実績は、金額で17ヶ月振りに減少となった。人件費を上げざるを得ない事業者の支払い負担増加分についての運転資金需要といった、後ろ向きな利用が見られたとの声や、伴走支援型特別保証制度について、6月の申込は予想に反して少なかったとの声が聞かれた。
- 雇用面は、6月の有効求人倍率は1.53倍と33ヶ月連続で1.50倍を超えた。ヒアリングでは、外国人、中途採用、派遣などを含めて先月から5名採用増としたが、常に人手不足が解消されないとの声や雇用した人材をいかにして育てていくか、離職率を減らせるかが課題との声が聞かれた。また、正社員に対して一律賃上げを実施したが、パートは上げすぎてしまうと所得制限に引っかかり、働ける時間が短くなってしまっているので、従業員と話をしながら対応しているとの声も聞かれた。